

平成27年第2回定例会一般質問通告概要一覧表

質問順	受付月日	6. 8	通告者	1番	柳原清
1番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 新子育てサポートセンター利用料金について</p> <p>多賀城駅前に移転する新子育てサポートセンターでは一時預かり事業を実施する予定だが、利用料の設定が1時間700円であり、現在保育所で行なっている一時預かり保育の料金と比較し割高である。市民が気軽に利用できる料金への引き下げを検討されたい。</p> <p>またキャンセル料金についても、再検討されたい。</p> <p>2. 住宅リフォーム助成制度実施について</p> <p>本市では平成23年度より住宅リフォーム助成制度を開始する予定であったが、東日本大震災により中止となっている。震災後住宅リフォームの需要は高まっており、リフォーム助成制度再開をするべきではないか。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	4番	深谷晃祐
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 多賀城市の観光行政について</p> <p>(1) 観光行政を進めるメリットをどのようにお考えか。</p> <p>(2) 宮城県内をまたにかけた広域連携を図るべきと考えるが、現在の取り組み状況は。</p> <p>(3) 現在の観光客入込数が倍増した場合の多賀城市にもたらす経済効果を試算したことがおありか。試算の可否に関わらず、その理由は何か。</p> <p>(4) 道の駅の設置推進は、昨年度行われた市長選挙の公約に記載があるが、具体的にどのような推進策をお持ちか。また、民間力の活用は必要不可欠であると考えがいかがか。</p> <p>(5) 観光行政の推進により、多賀城市を訪れる機会のある方々に多賀城の魅力を発信し、定住人口の増加に寄与することも必要であると考えがいかがか。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	13番	根本朝栄
3番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答

1. 地方版総合戦略の策定について

人口減少を抑制する戦略として「地方版総合戦略」を本年度中に策定することになっていますが、多賀城市の場合、水族館や図書館の開館などで多くの交流人口が見込まれ、また、ベッドタウンとしての要素に加え、既存の工場地帯や津波復興拠点整備事業による雇用の創出が図られることになっており、政庁跡などの歴史的遺産を持ち、面積も狭いうえ、台風などの自然災害も少なく大変住みよいまちであることなどの利点を総合的に勘案し、その上で子育て支援の充実を目指すならば、人口減少対策というより、むしろ、人口増を図る戦略を立てることが多賀城市にとっては何より重要と認識します。

以上のことから、次の2点について伺います。

(1)本市における「地方版総合戦略」の基本的な考え方を人口増に定め、大胆かつ積極的な「地方版総合戦略」を策定してはどうですか。

(2)「地方版総合戦略」には子育て支援の充実が欠かせないことから、若い子育て家庭の定住促進を図るため、子ども医療費の通院無料化を入院と同様に「中学校3年生まで拡大」してはどうですか。

また、3人目を出産する家庭に「祝金の支給」を検討してはどうですか。

2. シルバーヘルスプラザについて

シルバーヘルスプラザの西部地区への設置について、市長は「そんなに遠くない時期につくらざるを得ない」との答弁でありましたが、あれから約4年が経過しており、早急に検討すべきではないですか。

3. 水路の橋の整備について

新田地区の七北田川堤防沿いに水路（中野堰）がありますが、この水路には仮の橋が設置されていましたが、震災により破損し、現在鉄パイプでできた暫定の橋が設置されています。橋が低いため水面に近く大変危険なことから、地域住民の要望も踏まえ、早急に「正式な橋」を整備してはいかがでしょうか。

質問順	受付月日	6. 8	通告者	16番	昌浦 泰已
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. スクールソーシャルワーカーについて</p> <p>(1) スクールソーシャルワーカーの役割、活躍を市としてはどう評価しておられますか。</p> <p>(2) 多賀城市独自に正規職として、スクールソーシャルワーカーを採用されてはどうでしょうか。</p> <p>2. 人材の2市3町共同活用について</p> <p>(1) 塩釜地区2市3町共同で、議会事務局職員、保育士、栄養士、保健師等の人材を一部事務組合で採用、または登録し、共同活用してはどうでしょうか。</p>					

質問順	受付月日	6. 5	通告者	2番	戸津川 晴美
5番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 教育問題について</p> <p>(1) 教育委員会制度の基本理念である「住民意思の反映」のためには、教育委員が直接、住民の要求をつかむことが重要であると考えます。そのための具体的方策を伺います。</p> <p>(2) 教育現場の多忙化を少しでも解消するため、日直業務内容を見直し、校舎内外の巡視や学校日誌の記入は管理職がおこなうよう、指導を徹底すべきと思いますが、いかがですか。</p> <p>(3) 少人数学級（35人学級）は、小学1、2年生と中学1年生のみにとどまっています。この拡大について、さらに国・県に強く求めるべきだと思います。いかがですか。</p> <p>2. 原発問題について</p> <p>(1) 原発事故時の避難計画の中で、本市は石巻市住民の避難先に指定されています。避難先自治体としての準備等の進捗状況と、今後予想される課題について伺います。</p> <p>(2) 実効ある避難計画作成は困難であると思いますが、国は再稼働をあくまで進めようとしています。再稼働に対する地元同意の対象が、立地自治体に限定されていることに対する市長の見解を伺います。</p> <p>(3) 一部の医療機関で、被ばく健診が実施されています。健診料金の補助をすべきと思いますが、いかがですか。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	8番	藤原益栄
6番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 末の松山周辺の整備について</p> <p>(1) 平成26年10月6日付けで、名勝『おくのほそ道の風景地』に「壺碑」、「興井」とともに「末の松山」が追加指定され、あらためて末の松山周辺を一体として整備することを提起し、市長からも前向きな答弁があった。その後進展はいかがか。</p> <p>2. 仙台防衛施設局多賀城宿舎の跡地利用について</p> <p>(1) 仙台防衛施設局多賀城宿舎が廃止となった。公園等として利用することを検討されたい。</p> <p>3. 水道料金について</p> <p>(1) 水道事業会計の補正予算で、「原水及び浄水費」が「15,834 千円」の減額となっているが、これは仙台分水の受水費の減額と見受けられる。この値下げ分も水道料金の引き下げ財源として活用すべきものとするか。</p> <p>4. 本市の文書管理について</p> <p>(1) 多賀城海軍工廠関連文書原本綴りについて</p> <p>①上記文書綴りが見つかったと報告があった。本来であれば適切に管理し、工廠の調査研究の深化発展に供すべきであったと考えるが、10年以上行方不明になっていたことを、どのように考え、また教訓とするか。</p> <p>②上記文書は市文化財に指定する価値があるか。</p> <p>(2) 保存期限が終了した市公文書の取り扱いについて</p> <p>①上記文書について保存活用方針をもっているか。</p> <p>②公文書館の必要性について市長の認識を問う。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	3番	江口正夫
7番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 小・中学校の市民会館使用料の減免拡充について</p> <p>本市の市民会館条例で小・中学校が市民会館を利用する場合、会場使用料は10割減免を適用していますが、施設設備使用料は有料となっており、その経費は保護者が負担しています。</p> <p>他の自治体によっては、使用料全てを10割減免としているところがあります。</p> <p>市民会館で学校行事を行う場合、予算不足から保護者の負担が増しており、使用料全ての10割減免を求める意見が高まっています。</p> <p>(1)施設設備使用料が有料として、徴収されている現状についてのご認識は。</p> <p>(2)小・中学校の公的（準公的含む）行事で市民会館を使用する場合は、経費の全額を10割減免に拡充すべきでは。</p> <p>(3)小・中学校の10割使用減免を条例に明記すべきでは。</p> <p>2. 国家公務員宿舎の取得・有効活用について</p> <p>国家公務員宿舎削減計画に基づき、八幡地区の防衛施設局宿舎の廃止が決定され、平成28年3月末に東北財務局に引渡され、来春には関係自治体に取得の意向調査が行われます。</p> <p>地域住民から、取得・有効活用の要望があることから、取得に向けて前向きな取り組みが求められます。</p> <p>(1)同宿舎の取得に向けてのご見解は。</p> <p>(2)将来のまちづくりのための市の財産として必然であり、有効活用を検討すべきと考えますが、ご見解は。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	11番	松村敬子	
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 認知症施策の充実について</p> <p>厚生労働省の発表によると高齢者の認知症は平成24年は462万人。この数字は、平成14年の149万人から10年間で3倍に増加しており、65歳以上の7人に1人が認知症を患っている計算になります。本市においても増加傾向にあると思われることから次の3点について伺います。</p> <p>(1)本市の認知症患者、および予備軍の人数の掌握は如何に。</p> <p>(2)認知症ケアパスの作成は如何に。</p> <p>(3)認知症予防対策は。</p> <p>2. 東北随一の文化交流拠点の整備について</p> <p>市長は、平成25年7月11日のCCC(株)との共同記者会見で『多賀城のアイデンティティともいえる歴史遺産、また、国内屈指の音響性能を有する多賀城市文化センターの「音楽ホール」とのネットワークを形成しそれらの特性を生かしながら、さらに質の高い文化に直接触れることができるよう、JR多賀城駅前に、地域文化の代表的施設である図書館を中核に据えた「東北随一の文化交流拠点整備」を実現してまいります。』とのべられております。図書館を中心とした駅前整備の、そこから遊歩道で繋ぐ文化センター整備のビジョンは示されているが、歴史遺産の特性を生かした東北随一の文化交流拠点にふさわしい環境整備のビジョンは示されていない。よって、具体的なビジョンを示されたい。</p>						

質問順	受付月日	6. 8	通告者	14番	雨森修一
9番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別
総括					

1. 第二中学校への弓道場の建設について

平成25年第4回定例議会一般質問に於いて、第二中学校への弓道場建設の必要性を質問致しました。その際、市長が答弁された内容について紹介し、質問致します。

『市長答弁の一部「これは私のほうから逆にお願いしたいなというふうに。というのは、万葉まつりの射礼、要するに弓道は、私が発言してお願いしてやってもらったという経緯がございます」～中間は省略致します』

そして発言の中で、各中学校4校とも弓道ができる体制づくりを将来的には持っていきたいとの回答でありました。

市長の任期中の大切な仕事として、建設計画をつくる事を望みます。文武両道、教育の一環でもある部活動に於いても、差別があっては許されぬと考えます。早期決断、実行、教育熱心な市長にご期待いたしますが、市長に伺います。

2. 多賀城南門等の復元整備計画について

市長の考えは、この計画は市民の皆様などに古代東北の中心であった多賀城を五感で体感していただきたいとの答弁であります。本当に多くの市民は市長の考えを理解しているのか、疑問を感じます。見せる観光の時代は終わりを告げ、観光産業と取り組まないと、多賀城の負の遺産になりかねないと考えます。

市長見解を伺います。

質問順	受付月日	6. 8	通告者	10番	森 長 一 郎
10番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別 一問一答
<p>1. 仙台うみの杜水族館のオープンについて</p> <p>(1) 多賀城市にも大きな影響を及ぼすと思われる周辺アクセスの課題と対策を伺う。</p> <p>(2) 観光振興に事業者とのタイアップ企画は可能か。</p> <p>(3) 仙台うみの杜水族館との有機的な連動を図り、積極的な広域観光の進展を期待するが、当局の考え方を伺う。</p> <p>2. AED貸し出しについて</p> <p>(1) 市民、地域住民参加のスポーツ大会や、イベント開催時にAEDを無料で貸し出す制度を創設、市民の安全確保と考えるが当局の対応を伺う。</p> <p>3. 多賀城高校災害科学科設置について</p> <p>(1) 多賀城高校との防災関連の接点は現在もあるが、次年度より災害科学科が新設される。更なる当局、市民との減災活動の連携をと考えるが、当局の考えを伺う。</p> <p>4. 心身障がい者医療費制度について</p> <p>(1) 心身障がい者医療費助成制度は窓口で自己負担を支払う必要がない現物給付とする様、県に働きかけを願う。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	9番	佐 藤 恵 子
11番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別 総 括
<p>1. 商業機能集積補助金の有効的活用について</p> <p>(1) 現時点でこの制度への応募状況と反応について報告されたい。</p> <p>(2) 津波被災地全体の商業再生のためにこの補助制度の対象エリアを拡大し、より活用できるよう取り計らわれたい。</p> <p>(3) 桜木商店街に共同で利用できる駐車場を求める要望がある。商業集積のためにも市のイニシアチブで駐車場の設置を検討されたい。</p> <p>2. バス停のベンチ設置について</p> <p>(1) 多賀城駅前のバス停に利用者のためのベンチを設置されたい。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	12番	阿部正幸	
12番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 市内の中学校吹奏楽部が文化センターを利用する場合について</p> <p>(1) 毎年7月に吹奏楽コンクール地区大会が多賀城市文化センターで開催されています。市内の中学校吹奏楽部がコンクール前に、本番会場である多賀城市文化センターで練習出来ることは生徒にとって、大きな自信に繋がります。多賀城の将来を担う子どもたちの音楽教育の一環として、教育委員会が練習の場所を確保してはいかがでしょうか。</p> <p>2. 防災情報テレフォンサービスについて</p> <p>(1) 防災行政無線が「聞こえにくい」「何を言っているのかわからない」との市民の声があります。そこで、防災行政無線の直近の放送内容を確認できる防災情報テレフォンサービスを知らない市民がいます。</p> <p>防災情報テレフォンサービスの電話番号を毎月発行している「広報多賀城」に掲載してはいかがでしょうか。</p> <p>(2) 5月13日（水）の朝、携帯電話の緊急地震速報がなり、その後、防災行政無線の放送がありました。内容が聞き取りにくいいため、防災情報テレフォンサービスへ確認しましたが、「ただ今、市内に災害は発生しておりません」との内容でした。緊急地震速報のときも、防災行政無線の放送内容が確認できるようにしてはいかがでしょうか。</p>						